



広島西ロータリークラブ会報

No. 2179

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

広島西RC 検索

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 森信 秀樹
幹事 諏訪 昭浩

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

RIテーマ Light Up Rotary
「ロータリーに輝きを」

本年度会長テーマ
「隗(かい)より始めよ ロータリー」

「会員増強及び拡大月間」「平和月間」

2014年8月7日 第2155回例会
8月第1例会

◆ 会長時間 ◆

森信会長



皆さんこんにちは。昨日は69回目の原爆の日でした。会員の皆様方それぞれの想いでこの日を過ごされたものと思います。改めて犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申

上げます。世界に目を向けますと、クリミアや中東パレスチナでは紛争が続いています。テレビのニュースを見るたびに胸が痛む思いです。

このパレスチナにロータリークラブがあるのか調べてみました。

2010年5月にパレスチナ自治政府の事実上の首都でヨルダン川西岸地区にあるラマラにラマラロータリークラブが30年ぶりに34名のメンバーで設立され、ジョンケニーRI会長はじめ150人の会員が集まりこれを祝いました。この年6月のモントリオールでのRI年次大会ではパレスチナの旗が各国の国旗と共に入場したことが当時のロータリーの友(2010年12月号 2011年 59号)に報じられています。

このクラブ設立には東京大学大学院に留学し東京東村山RCで米山奨学生であったジェフリー・ベアさんという米山学友の尽力があったようです。

ちなみに、当初このクラブの所属は2450地区で

したが、2011年9月のRI理事会で2013年7月よりエジプトが2451地区、パレスチナと近隣諸国は2452地区に分割することが承認されています。

次に、昨日いつものようにメールをチェックすべくパソコンを立ち上げますと、外国からの見慣れないメールが届いていました。

第2490地区イスラエルのエルサレムロータリークラブの対外交渉役(Toastmaster) ミッシェルDランドさんという方からのものでした。



エルサレムRC会報の表紙

8月6日の広島に寄せてのメッセージと、広島の日清戦争以降の軍都としての繁栄、被爆から現在までの広島よみがえった姿、その過程で国の内外から温かい支援が寄せられたこと、そしてわがクラブのホームページが紹介された会報が添付されていました。当クラブのホームページは英語版でもアップされていることから送っていただいたものと思います。イスラエルとパレスチナ双方にあるロータリアンたちで、今の悲惨な行為を停めることができないのでしょうか。

さて、8月は当クラブでは「平和月間」として、改めて平和について考える機会を設けていますが、本日は修道大学法学部の佐渡教授にお越しいただきました。

本年3月2日に開催されました第2710地区グループ6・7合同のインターシティーミーティングはまだ記憶に新しいかと思えます。これは、2013年5月18日に開催されました「ロータリー世界平和フォーラム広島」での議論等を、会場に入る事の出来なかった在広クラブ会員にも理解してもらおうと企画されました。当日、佐渡先生には「国家の果たす平和達成への役割」と題して国家、国際社会の役割、更にわれわれロータリアンへの期待などとてもわかりやすくお話しいただきました。

本日も、より身近な例会にてお話がきけること楽しみにしております。

前後いたしますが、本日は、東南ロータリークラブ神辺（かんべ）ガバナー補佐、田上随行幹事様には、8月28日のガバナー公式訪問に際してのクラブ協議会にご出席のため例会からご出席いただきましてありがとうございました。

後程は、いろいろご指導いただきますようお願い申し上げます。

**☒ 神辺眞之グループ7ガバナー補佐挨拶、
随行 田上克彦グループ7ガバナー補佐幹事**



● 会務報告 諏訪(昭浩)幹事

※新会員候補者の照会を配布しておりますので、よろしくお願ひします。

※例会終了後、4階「カメラ」において、神辺ガバナー補佐をお迎えして第2回クラブ協議会を開催いたしますので、理事会役員及び各委員長は出席願ひます。

※本日の理事会にて、RI第2710地区2015-16年度ガバナー補佐として、中村さんを推薦する事を決定しましたのでご報告します。

※2016年規定審議会への立法案提出（北区へ）の締め切りが8月25日までとなっています。提出のご希望がある方は、幹事までご一報下さい。

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 松岡(幹)副委員長

本日（8月7日・木曜日）

会員数	74名	出席者	58名
欠席者	16名	ご来客	1名
ご来賓	3名	ゲスト	1名
		計	63名

前々回（7月24日・木曜日）

出席率 100%



※ 会報雑誌・広報委員会 梶委員長

ロータリーの友誌紹介
ホームページ掲載のお知らせ

※ 青少年・インターアクト委員会 新本副委員長

青少年交換留学生の原君が8月5日広島空港より無事出発されました。

会長、幹事をはじめ、早朝よりお見送りいただきました皆様ありがとうございました。



あと3名の留学生の見送り、迎える件でございますが予定が確定致しましたのでお知らせ致します。

①鈴峯学園の楠木さん

8月16日(土) AM 07:35 岩国空港より出発

②アメリカから来日のジョセフ君

8月15日(金) AM 08:20 広島空港着

③メキシコから来日のマリアさん

8月21日(木) PM 19:05 広島空港着

以上3名の方の予定です。時間のとれる方いらっしゃるやいましたら是非お見送り・お出迎えをお願いしたいと思いますので宜しくお願い致します。

なお、お見送りの方は出発時刻の1時間前に岩国空港出発ゲート前にお集まりください。

お出迎えの方は到着時刻の30分前に広島空港国内線到着口前にお集まりください。

● 会員記念日

祝 8月お誕生日おめでとうございます。

(11名)

三浦君	箕 君	鮫島君
沖 君	松岡(輝)君	尾形君
松岡(幹)君	木村君	山木君
加藤君	米山君	



● スマイルボックス SAA 井下副委員長

😊 高齢医師4人組 (自主申告・トリプル)

トロピカル アイランダーズ
Tropical Islanders はきたる8月28日、懲りもせず、第8回目の“ハワイアンの夕べ”を開くこととしました。今度こそ、最後となりそうです。もし興味のある方がおられましたら、ご参加ください。

😊 田中君 (自主申告)

先月7月第2例会の7月10日は私の誕生日でした。

前会員の田中浩二さんから、事務局楠原さんを通してワインをいただきました。

田中さんにお礼の電話をし、ワインをいただいた理由をお聞きしたところ、例会当日が私の誕生日だったことがその理由でした。

いただいたワインは、私が以前GSEで訪問したタスマニア産であり、思い出多い地であるからプレゼントしたとのことでした。

中田さんに感謝して、出宝します。

😊 紫雀会一同 (自主申告)

8月1日はマージャンの日です。

いつも、マージャンを楽しくさせていただいております紫雀会の全メンバーが、喜んで自主申告を致します。

紫雀会ではメンバー大募集しております。新メンバーの御加入、楽しみにしております。どうか宜しくお願い致します。

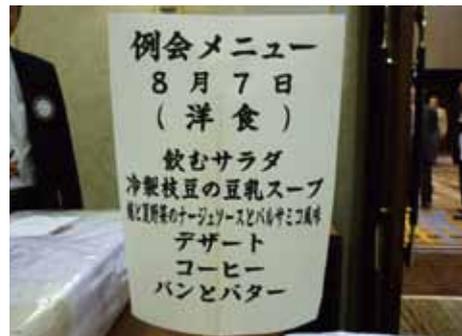
😊 タクシーの日

一昨日、8月5日はタクシーの日です。1912(大正元)年のこの日、東京・数寄屋橋のタクシー自動車株式会社が日本で初めてのタクシーの営業を開始したそうです。木本さんと本日、当会場へタクシーで来られた方は記念日に因んでご出宝下さい。

😊 全員出宝

昨日8月6日は、広島では忘れることが出来ない69年目の原爆の日でした。8月はわがロータリークラブの「平和月間」でもあります。犠牲者のご冥福を祈り、世界の平和を願って全員出宝をお願いします。

● 例会料理メニュー



● 卓話予告

日時	テーマ
8/28(木)	ガバナー公式訪問



平和を考える

広島修道大学 法学部
教授 佐渡 紀子 氏

1. 対立と抑止の時代の再来

- ・ウクライナ問題：

米口の対立の激化、新しい冷戦？（協調的安全保障モデルの危機）

- ・東アジア：

中国の台頭と米国の影響力の相対的低下（パワーシフト）

日中・日韓の領域をめぐる対立と歴史問題

2. 「積極的平和主義」とは何か——現実主義からの平和論？

- ・「国家安全保障戦略」（2013年12月）

【現状認識】 平和国家としての戦後の歩みは維持しつつも、安全保障環境が厳しさを増す中、日本の平和と安全は日本一国では確保できない。また、国力にふさわしい形で国際社会の平和と安定のために一層積極的な役割を果たす必要がある。

【基本戦略】 国際協調主義に基づく積極的平和主義の立場から、日本とアジア太平洋地域の平和と安全を実現しつつ、国際社会の平和と安定及び繁栄の確保に、これまで以上に積極的に寄与していく。

【具体的方策】 領土保全機能の強化、日米同盟強化、PKO等への積極的参加、武器移転規制の再検討

- ・「積極的平和主義」の展開：

集団的自衛権の行使容認を目指した動き

3. 平和主義をめぐる不安と葛藤

- ・「積極的平和主義」への問題提起：

①平和のための暴力容認（非暴力平和主義、Pacifism からの反発）

②「積極的平和」概念の濫用（平和学の観点からの反発）

- ・積極的平和とは：

平和を戦争の不在としてとらえることへの対抗概念として提起された。人びとが自らの潜在的な能力をいかすことができる状態

を平和ととらえる（構造的暴力の不在状態としての平和）。平和の客体を「人びと」ととらえる試み。

- ・問い：

なぜ「積極的平和主義」や集団的自衛権は、平和主義をめぐる議論を再度喚起しているのか。

⇒国際貢献の文脈ではなく国家の自衛の文脈で語られ、かつ、むしろ中国や北朝鮮の脅威に対抗するための軍事力による抑止アプローチが強調されるため。

- ・国家を客体とした平和主義の問題点：

国家の安全という名目の下で、国家間の対立が強化され（安全保障のジレンマ）、抑圧が維持・強化される。

4. 現実主義からの批判に答えるために——平和学からの示唆

- ・現実主義的からの要請：

国家とそこに住む人々の安全を守るために、暴力を用いるアプローチ（抑止を含む）を容認する必要がある。非暴力主義では現実の脅威に対応できない。

⇒暴力のはらむ問題点を自覚し、自制と批判が必要

- ・平和学からの示唆：

平和の客体を国家から人びとへと転換することで、見逃されがちなひとびとの痛みを光を当て、問題解決の原動力を手に入れる。

- ・平和学的アプローチの可能性：

暴力を用いたアプローチによって生まれる人びとの痛みを強調し、暴力の行使を避けるための環境づくりを担う。

⇒区別と排除の思考枠組みを乗り越える力連携を生む力

